

県立大学の学生さんにご協力をいただき、大学での研究・学習・生活等について2年生が学ぶとともに、地域課題を考えるワークショップを開催しました

11月2日（火）に県立大学の学生さん5名にご協力をいただき、大学での研究・学習・生活等について2年生が学ぶとともに、地域課題を考えるワークショップを開催しました。まず、5時間目は多様な進路選択肢について考えることを目的として、田中ゼミの3名の4回生の学生さんに「地元企業と連携した商品開発の研究の取り組み等」、ボランティアサークルGONEXTの2名の2回生の学生さんに「江津を元気にする活動、講義の時間割、アルバイト等」についてのお話をいただき、大学での研究・学習・生活について学びました。

6時間目は地域課題について考えることと、探究の練習をすることを目的として、本校の竹内魅力化コーディネーターにファシリテーターを務めていただき、9班に分かれて「地域で不便や危険を感じる設備や施設の改善方法について」のテーマでワークショップを開催しました。ワークショップでは学生さんの支援を受けながら、生徒が宿題として探してきた不便や危険とを感じる設備や施設について班内で共有するとともに、改善方法について議論し、班の代表者が発表をしました。学生の皆さんのご支援のおかげでとても活発なワークショップの機会となりました。

本校では、今後も県立大学様のご協力を得ながら、地域課題について考える機会や探究の機会を生徒に提供したいと考えております。

